LIBRARY NEWS

図書館だより

No.329

発行・編集：市立飯山図書館
長野県飯山市大字飯山 1421 番地
電話・FAX：0269-62-1118
URL：http://tosho.city.iiyama.nagano.jp
2006 年（平成 18 年）8 月 15 日発行

開館時間と休館日

〈開館時間〉火～金 9：30 ～ 18：00
土・日 9：30 ～ 17：00
〈定 休 日〉月曜日・祝祭日・年末年始

休館日カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
8月	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
9月	27	28	29	30	31	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16

■の日は休館です。

もうすぐ 読書の秋です！

お盆も過ぎれば、だんだんと涼しく過ごしやすくなり、読書に適した季節の足音が聞こえてきます。読書の秋を前に、図書館で実施した読書推進のための活動や、これから実施する行事の一部を紹介します。

☆夏の行事報告☆

親と子の絵本講座

◎夏コースが終了しました

これまで1時間の講座を3回行っていた絵本講座ですが、今年はより参加しやすくするために、30分の講座を6回、好きなテーマの回だけでも参加できるという形式にしました。6月6日から7月11日まで実施した夏コースには15組の参加があり、多くの方々に絵本のよさ、絵本との関わり方・選び方や、わらべうたなどについて学んでいただきました。家庭に帰ってからも、親子で楽しい絵本タイムを過ごしていただきたいと思います。次回の講座は、10月17日からです。今回参加されなかった方、少しでも興味のある方はぜひお申し込みください。募集については事前に図書館だよりでお知らせします。

熱心な受講生の皆さん

〔参加者の声〕

これまでなかなかできなかった分、年齢に合った本をなるべくたくさん読んであげたいと思いました。絵本の世界からいろいろなことを感じ、子どもの世界を大きく広げていってほしいと思います。

たなばたお話会

おはなしひろばの拡大版として、7月16日に行った「たなばたおはなし会」には約80人の親子に参加いただきました。

歌いながらお話が展開されていくパネルシアター「すてきな帽子屋さん」や、大きな絵本「しりとりのすきなおうさま」、「わゴムはどのくらいのびるかしら」に子どもたちの目はくぎづけになりました。お話とお話の間には、お餅の手遊びや、いもむしのじゃんけんゲームなどを行いました。最後に、短冊に願いごとを書いて、笹の葉に飾りました。

次回のおはなしひろば拡大版はクリスマスに行う予定です。お楽しみに。

♪いもむしごろごろ♪
歌いながら、じゃんけんの相手を探します。

「すてきな帽子屋さん」のパネルシアターは歌いながらのお話でした。

らいぶらりいブックレビュー

こんなのもあります

旬の本・話題の本・意外な本

第二楽章

吉永 小百合 朗読（ビクターエンターテイメント）

（長崎から・沖縄から）

「童話を選んだのは、子どもたちにも聞いてほしかったから」朗読活動をライフワークとしてきた吉永さんが、平和の尊さを次世代へ伝えていきたいという強い想いで企画した CD。

●10月14日、15日は、図書館まつり。本のリサイクル市で販売させていただく本をお譲りください。

市民ギャラリー出展者募集！自慢の手作り芸術品を図書館に飾りませんか。

☆「読書の秋」直前の図書館行事☆

参加者募集！

ごいっしょに楽しみませんか　絵本の世界を!!

児童図書・児童サービスのスペシャリストである、下沢洋子先生をお招きし、読みきかせ講座を実施します。絵本を選ぶポイントや、読み方の基本など、実践を交えながら、ご指導いただきます。

○とき　8月27日（日）午後1時30分～4時30分
○会場　飯山市公民館　206教室
○講師　下沢　洋子　先生（飯田市立上郷図書館長）
○参加費　無　料
○定員　30名
（定員になりしだい締め切ります。お早めにお申し込みください）
○対象　絵本に興味のある方、すでに読み聞かせ活動を行っている方、学校・保育園・幼稚園の先生など、どなたでも。
○お問い合わせ・お申し込みは、気軽に市立飯山図書館まで。

新着図書案内

よみもの

自分自身への審問	辺見　庸
立松和平の日本動物記	立松　和平
あやしうらめしあなかなし	浅田　次郎
おとこ坂おんな坂	阿刀田　高
無言歌	赤川　次郎
少年時代	池永　陽
灰色のピーターパン	石田　衣良
禿鷹狩り	逢坂　剛
優しい子よ	大崎　善生
オートフィクション	金原ひとみ
ドラママチ	角田　光代
船泊まりまで	片山　恭一
秀吉の枷　上・下	加藤　広
ひとがた流し	北村　薫
赤々煉恋	朱川　湊人
静寂の子	谷村　志穂
花はさくら木	辻本　登
怪談岩淵屋敷	鳥羽　亮
まほろ駅前多田便利店	三浦しをん
骸の爪	道尾　秀介
希以子	諸田　玲子
スピン	山田　悠介
初恋温泉	吉田　修一
夢はトリノをかけめぐる	東野　圭吾

そのほか

いま患者が求めるホスピス緩和ケア	野沢　一馬
おしゃれなゆかたの着こなしBOOK	笹島　寿美
自由自在に使えるカット&イラスト集	成美堂出版
日本の名湯を旅する 甲信越編	ジエ・エー・エフ
心にトゲ刺す 200 の花束	Ｅマーカス
かんたん表装入門	垂水　李
誰？	渡辺　謙
男のヘアケア基本講座	成美堂出版
子どもたちのインターネット事件	長谷川元洋
ひんやりスイーツ	古賀　聡子
みんなのカーリング	学　研
トリノオリンピック 日本代表選手写真集	フォート キシモト

～シリーズ～　わたしの「おすすめの本」紹介します

飯山地区
北澤　智穂 さん

明日の記憶

荻原　浩　著（光文社　刊）

この本を知ったきっかけは、映画化の報道である。主演の渡辺謙が主演を強く希望したというのと「若年性アルツハイマー」がテーマという点に興味がひかれ、映画を観る前に原作を読んでみたいと思ったからだ。

物語は、50歳の主人公・佐伯の視点で進んでいく。記憶を失うことで、社会的・家庭的に自分の存在価値が失われるのではないかということへの焦燥感やアルツハイマーの症状への恐怖、そして、主人公を必死に支えようと手を尽くす家族に対する苛立ち。アルツハイマー病である自分を受け入れまいとする感情の描写がとても痛々しく、辛い。そして、その主人公をとりまく同僚や家族の姿もとてもリアリティがあった。

絶望的なテーマにもかかわらず、ラストですっかり裏切られた。哀しくはあるが、「自分」を受け入れた主人公に一種爽やかさまで感じてしまう。人間は「今日」を生き、「明日」を夢見るのだ。是非ご一読のほど。